

予算と方針

平成27年度予算の紹介

一般会計予算は192億4,500万円 前年度比6.0%減

平成27年度予算が3月定例市議会で可決されました。全会計の総額は346億円で、前年度に比べて0.5%の減となりました。ここでは、平成27年度予算の概要についてお知らせします。

当初予算は、4月1日から翌年の3月31日までの収入と支出の計画を立てたものです。

この市の予算には、大きく分けて一般会計と特別会計があります。特別会計は特定の事業のための会計で、国民健康保険などが該当します。特別会計で納められた保険料(料)はその事業費に充てられ、他の事業には使われません。特別会計で行われる以外の事業は一般会計で行われます。

平成27年度一般会計予算は192億4,500万円。前年度に比べて6.0%の減となりました。

第四次北本市総合振興計画に基づく主な事業

未来につなぐ夢のある学びのまち

生涯学習・教育

- **小中学校天井等落下防止対策事業 4,927万円**
中丸小学校多目的ホールおよび全中学校の武道場等の天井等の落下防止対策を行います。

心かよう健やかなまち

保健・福祉・医療

- **学童保育室学童保育料改定等事業 5,461万円**
学童保育室について、学童保育料を値下げするとともに、開室時間を拡大するよう整備します。
- **健康増進センターカラオケ機器更新事業 302万円**
健康増進センターのカラオケ機器を更新します。
- **糖尿病性腎症重症化予防事業 1,311万円**
国民健康保険のデータベースを活用して、糖尿病性腎症の重症化の予防が期待できる被保険者に対し生活指導等を実施します。

緑輝くうるおいのまち

環境・景観

- **オープンガーデン活動支援事業 25万円**
積極的にガーデニングに取り組む市民活動を支援し、観光交流人口の増加と良好な都市景観の誘導を図ります。



- **中丸8丁目運動広場整備事業 603万円**
中丸8丁目地内に運動広場を整備するため、不動産鑑定等を実施します。

快適で安心・安全なまち

都市・生活基盤

- **交通安全施設等整備事業 2,900万円**
道路反射鏡の設置及び区画線塗布等交通安全施設整備を行うとともに、ゾーン30事業を実施します。
- **消防ポンプ車購入事業 2,000万円**
消防団第3分団配備の消防自動車を更新します。



「業」を耕す活力のまち

産業

- **中心市街地活性化推進事業 60万円**
北本市商工会に一店逸品カタログ作成のための補助金を交付します。
- **北本市観光協会補助事業 1,493万円**
北本市観光協会に各種観光事業を推進するための補助金を交付します。



- **サマーフェスタ補助事業 140万円**
北本市商工会にサマーフェスタ事業への補助金を交付します。



みんなでつくる参加と交流のまち

市民自治

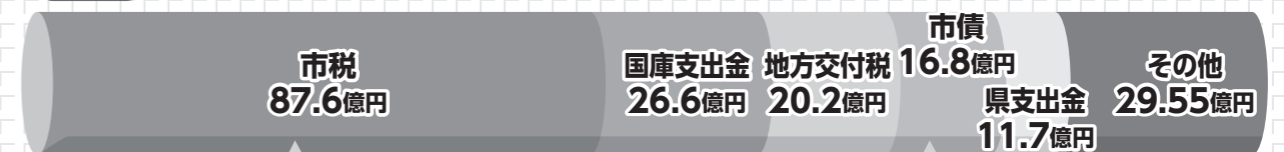
- **セーフコミュニティ推進事業 440万円**
推進協議会等を開催し、再認証に向けた活動を展開します。



計画の推進に向けて

- **公共施設マネジメント計画策定事業 500万円**
総務省から要請されている「公共施設等総合管理計画」の平成28年度中の策定に向けた取組みを進めます。
- **社会保障・税番号制度システム整備事業 4,273万円**
社会保障・税番号制度の導入に向けて、システム改修等を行います。
- **インターネット公売事業 46万円**
差押えた財産の公売を確実にを行うため、買受申込人を広く求めることができるインターネット公売を導入します。
- **収入印紙販売事業 300万円**
市民の利便性および市民サービスの向上のため、新たに収入印紙を窓口において販売します。
- **減債基金積立事業 3,000万円**
将来の市債返済のためのお金を減債基金に積み立てます。

歳入 192億4,500万円



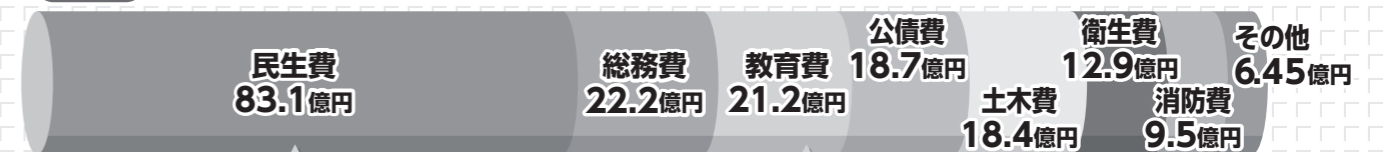
前年度比 +3.0億円

個人市民税および都市計画税は減額になるものの、法人市民税、固定資産税、軽自動車税および市たばこ税が増加し、前年度予算より3.0億円の増となりました。

前年度比 -11.5億円

児童館建設工事や市役所新庁舎建設工事などの大規模事業が終了したため、前年度予算より11.5億円の減となりました。

歳出 192億4,500万円



前年度比 +2.0億円

学童保育室改修事業、糖尿病性腎症重症化予防事業、健康増進センターカラオケ更新事業等により、前年度予算より2.0億円の増となりました。

前年度比 -3.3億円

小中学校大規模改修事業および中学校給食室整備事業等の終了により、前年度予算より3.3億円の減となりました。

用語解説

市税	皆さんが北本市に納めた税金です。
国庫支出金	特定の目的を達成するために国から市へ交付されるお金です。
地方交付税	皆さんが国に納めたお金の一部です。地方公共団体の財政状況に応じて配分されます。
市債	事業を行うために国や銀行などから借り入れるお金です。
県支出金	特定の目的を達成するために県から市へ交付されるお金です。

民生費	児童、高齢者などの支援や生活保護などにかかる経費です。
総務費	庁舎などの管理、財政管理、市税の賦課徴収、戸籍など市役所の全般的な仕事にかかる経費です。
教育費	学校の建設・管理、生涯学習、文化財保護など教育行政にかかる経費です。
公債費	市債の返済金です。
土木費	道路、河川、住宅、公園などの公共施設の整備や維持管理にかかる経費です。
衛生費	予防接種などの健康管理や疾病予防、ごみの収集や処分などにかかる経費です。
消防費	火災、風水害、地震等の災害から皆さんを守るための経費です。

地方創生

(平成26年度補正予算)

まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業 490万円

平成27年度から5年間の地方創生に係る人口ビジョンおよび総合戦略を策定します。

生活情報提供事業 500万円

本市の生活情報を冊子のかたちにして効果的に情報発信します。

観光プロモーション事業 1,493万円

日本五大桜「石戸蒲ザクラ」パンフレットを高速道路のSA・PAに掲出するほか、山手線および高崎線等に広告を掲示し、市の観光PRを行うことで、定住者および観光交流人口の増加を図ります。



物産・観光キャラバン事業 1,000万円

首都圏の複数会場でレトルト北本トマトカレーをはじめとする北本の特産品を販売するとともに、本市の魅力をPRします。



子育て

放課後子ども教室事業 2,191万円

余裕教室等を活用し、地域の人々の参画を得て学習活動や様々な体験・交流活動を行う放課後子ども教室を小学校全校で実施します。



中丸学童保育室・南学童保育室改修事業 1億3,082万円

中丸学童保育室および南学童保育室の改修工事を行います。

学校4・3・2制推進事業 2,763万円

小・中学校教員の相互乗り入れ授業の実施により、発達段階に応じた支援を行います。



特別支援教育支援員配置事業 1,910万円

新たに支援員を3人増員し、市内全学校に特別支援学級を設置します。

北本市が今年度 ^{ちから}力を入れる主な事業

環境整備

東間6丁目公園用地買収事業 9,800万円

東間6丁目地内に街区公園を整備するための用地を購入します。

旧東保育所跡地公園整備事業 2,000万円

旧東保育所跡地の一部を街区公園として整備します。

緑の基本計画改訂調査業務 500万円

平成26年度に実施した現況調査等を踏まえ、緑の基本計画の改訂を行います。



市民緑地等保全事業 1,200万円

市民緑地4号地において、引き続き間引き伐採を行うとともに、園路等の整備を実施し、利用しやすい環境を整えます。

市民自治

市民意識調査対象者拡充事業 157万円

20歳から10歳間隔の年齢に該当する市民を対象として、市民意識調査を実施することで、人生の節目において市政について考えてもらう機会とします。

分野別メール配信事業 223万円

子育て、教育、健診等の情報を種類、地域、年齢別にメール配信するサービスを行います。



第五次北本市総合振興計画策定事業 450万円

現行計画が平成27年度で終了するため、北本市自治基本条例に基づき次期計画の策定作業を進めます。



北本市の財政について、詳しくはホームページでご覧いただけます。



<http://www.city.kitamoto.saitama.jp/shisei/unei/2/index.html>



より詳しい情報は

平成27年度予算では、市のまちづくりの重要な指針である第四次北本市総合振興計画に掲げる将来都市像の実現に向けた施策・事業を中心に、子育て支援や環境整備、市民自治等に重点を置きました。

また、まち・ひと・しごと創生法に基づく国の平成26年度補正予算が2月3日に成立したことを受け、平成26年度北本市一般会計補正予算第6号および第7号として、地域住民生活等緊急支援のための交付金に関連する事業費およびその財源を計上する補正予算案が、3月定例市議会において可決されました。

当補正予算は、全額平成27年度に繰り越され、事業実施されます。

地域住民生活等緊急支援のための交付金に関連する事業費には、国や県の総合戦略等を勘案し、北本市版まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するための経費が含まれています。また、人口減少対策として、北本市の魅力発信する生活情報提供事業、観光プロモーション事業および物産・観光キャラバン事業等に係る経費のほか、地域消費を喚起するためのプレミアム付商品券発行事業および住宅改修資金補助事業に係る経費も含まれています。

今後も引き続き行政改革に取り組み、健全な行政運営に努めながら、市民福祉の向上と本市の発展に向けて、市民と行政との協働によるまちづくりを推進していきます。